



ウクライナチャリティーコンサート開催



10/14(土)、横浜市栄区の本郷台キリスト教会において、ウクライナチャリティーコンサートが開催されました！

来場者数135名。満席となり、戦争を悲しみ、ウクライナの避難民の方々を励ます思いが熱気となって会場に満ちました。

このコンサートは、当法人のウクライナ支援活動の理解者であり、シンガーソングライター/ゴスペル音楽・賛美歌の制作・指導者の鬼無宣寿(きなしのぶひさ)氏が、ご自身のゴスペル教室「ARTOS」の皆さまと提案していただき、自治体や自治会、多くのボランティアの方々のご協力によって実現しました。

当日は、鬼無氏の迫力ある歌唱や会場を巻き込んでのゴスペル、ARTOSの皆さまの高らかな歌声、そして避難民の皆さんによるピアノ演奏とウクライナの歌など、10曲以上の曲が演奏されました。

それは祈りにも似て、平和と平安、戦争終結の願いが溢れていて、会場全体が同じ思いで一つとなる時間でした。

特に、「Prayer for Ukraine」(ウクライナのための祈り)という楽曲は、今回、避難民の方がウクライナの作曲者を探し出して演奏の許可を得ることができました。作曲者ともつながることができた、思い出深い嬉しい曲となったと鬼無氏は振り返ります。

コンサートの入場料収入の27万円は、栄区・港南区に住む避難民の方々にお渡しする支援金となりました。また有志による避難民デザインのとートバッグ、および寄贈品のサシェ(匂い袋)の売上は、全額避難民学生の学費に用いられました。

企画・運営・出演・ご来場、このコンサートに関わってくださったすべての皆さまの惜しみないご協力に、心より感謝いたします。

主催：一般財団法人オアシス
共催：ラブリバー本郷台 Song for Ukraine、協力：ARTOS
後援：横浜市栄区 豊田連合町内会自治会 小菅ヶ谷連合町内会自治会

Supported by 日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION
2023.4 - 2024.3

鬼無宣寿氏
オフィシャル
Webサイト



鬼無氏への一問一答

ウクライナを支援しようと思ったきっかけは？

きっかけは2つあります。

1つは、最近、人の辛さを自分のことのように感じるようになったことです。また避難民の方は自分で働かなくてはいけないことを知り、自分でできることでサポートしたいと思いました。

もう1つは、支援する機会が与えられたことです。ゴスペルのメンバーであり、小菅ヶ谷連合町内会 副会長の方が、栄区の避難民を支援する仲介役となってくれました。

コンサートに込められた思いは？

「真実の愛には犠牲が伴う」といいます。単に金銭を提供するのではなく、自分の時間や労力を使いたいと思いました。

また、一方的な支援でなく、出演者も来場者も避難民の方々も、同じ目線でいたいと思いました。出演者も入場料も負担し、避難民の方々は自分にウクライナ語の意味・発音を教え、自分は彼女たちにピアノを教えたりしました。交流を通じて、「あなたは客人ではなく、互いに支え合うべき人だからね」という思いを込めました。





地域には、高齢であることや障がいがあるなどの理由で、住居を借りることが難しい方がおられます。(福)真愛は、そのような方々と、志ある家主の方が提供する住居をつなげ、安定した住まいの確保と見守りを行う事業、「居住支援」を正式にスタートさせようと、準備を行っています。今回、この事業の発起人でありスタッフの矢島京子さんにお話しを伺いました。

居住支援事業を始めるいきさつは？

まず、行き場のない若者たちに温かい「ホーム」があればという願いがありました。そこから、生きづらさを抱えた方々全般が安心して住居を確保することへ思いが進みました。

一方、住居を得るのが難しい方々について、新しい国の支援制度(①入居を拒まない賃貸住宅の登録制度②登録住宅の改修・入居への経済的支援③登録住宅と入居者とのマッチング・入居支援)が始まりました。

また、(福)真愛 地域活動支援センター まつてる 運営委員長の月井博さんは、長年、個人的に様々な方の住居探しを支援してこられました。

これら3つが合わさり、この大切な働きを持続可能なものにするために、法人として居住支援の働きを立ち上げることになりました。

居住支援は、具体的にはどのようなことをするのでしょうか。

<家主さんに対して…>

住居確保に困難のある方々に、所有する空き家・空き部屋・賃貸住宅を貸して下さる家主の方を募集し、対象物件を「ウェル住宅」として登録します。

または不動産業者さんと協力・連携します。

<住宅確保が困難な方に対して…>

行政や人づてにご紹介を受けた、住居確保が困難な方からの相談を受けます。

ウェル住宅等の中から、ご本人の要望と状況に合う物件を一緒に探します。

入居から、入居後の生活の見守りまで、ご本人が安心して暮らすことができるように支援します。

居住支援「ウェル」の名前の由来は？

「ウェル」(well)は、英語で「良い」と「井戸」の意)の2つの意味があります。

ここから、次の2つをモットーとして、この事業に取り組んでいきたいと思っています。

- ① 人は本来神のかたちに「良い」存在として造られたという聖書観に基づき、お一人お一人に向き合う。
- ② 聖書に出会いの場として登場する井戸のような、素晴らしい出会いの場・潤される場を提供する。

社会が必要としている「居住支援」。スタートを待望し、応援します！

住居を探す方々と一緒に考え・悩み・もがいていく。その方の中にある答えを、共に見つけていく姿勢を大切にしたいです。また、家主さんにとっても、資産の有効活用になればと思います。

立ち上げチーム



月井博さん (アドバイザー)

鈴木眞さん (入居支援)

矢島京子さん (生活支援)

関連団体ニュース

社会福祉法人 真愛 ふぁみりーさぼーとのあ



12/9(土)、のあのクリスマス会を開催しました。池田恵賜牧師のクリスマスメッセージ、子どもたちのページェント(降誕劇)、合奏、劇など、乳児さんも参加できました。祝福のうちに終わり感謝でした。

特定非営利活動法人のあインターナショナルスクール



11/28(火)、栄区社会福祉大会にお招きいただき、同じ地域の保育園の皆さんと一緒に、「花は咲く」「友だちになるために」「幸せなら手を叩こう」を歌いました。地域のために働く方々と心ひとつに過ごすひとときでした。

ふぁみりーさぼーと泉 でのい・さろん泉



でのい・さろんでの創作の時間に、カボチャの種や、ジュズダマ、ムクロジをポンドで付けてコサージュを作りました。材料をたくさん盛ったりシンプルにしたりと、利用者さんの個性が出ました。

学童保育のあ



のあには、プロのサッカーチーム選手として活躍しているスタッフがいて、公園遊びの時間にサッカー教室を行っています。ボールと仲良くなることから始まり、普段あまりボール遊びをしない子も楽しんで参加しています。

まつてる 第2まつてる



12/16(土)JR本郷駅前で開催されたクリスマスマーケットに、まつてる関係者有志で出店しました。第2まつてるで作ったアロマポーチやミニ巾着、クリスマスグッズなどを販売しました。何人もの方に来ていただき感謝でした。

特定非営利活動法人 エスペランサ・スポーツクラブ



【U-15A 神奈川リーグ昇格決定！】U-15A(中学3年生チーム)が神奈川1部に返り咲きました！来年度からは1部で闘います。選手たち一人ひとりが努力して掴み取った昇格です！チーム一丸となって頑張りました。

*** ご支援を感謝します ***

(12月26日現在・五十音順・敬称略)

支援企業 19社

アサヒ飲料株、㈱サンビルダー、㈱式典船山博善社、㈱ノア、㈱ファンケル、㈱北海ボーリング、㈱マーキュロップ、(福)真愛、㈱ココ、横浜女子短期大学、(特非)エスペランサ・スポーツクラブ、(特非)かながわ福祉保健学院、ココ・コーラ ボトラーズジャパン㈱、ガイドービレレッジサービス㈱、㈱日進館 万座温泉ホテル、(特非)のあインターナショナルスクール、㈱白洋舎 神奈川支店、㈱ホームコンサルタント、㈱山仁コーポレーション

オアシスサポーター 86名

青木徳子、明石絵理子、浅見真実子、雨宮崇・久美子、荒井ゆかり、飯島弘一、池田和雄、池田恵賜、池田聖献・雅美、池田登喜子、池田博、池田ゆみ子、石川知生、石川ひろみ、岩村美奈子、瓜生由美子、江熊あゆみ、生沼修一、大野覚美・康子、大町一志、大山彰・良子、小川史子、小野美佐子、礼カ「グズ妹」かほり、梶野智弘・道子、梶野幸枝、狩野琢三、神山惇子、栢希恵子、辛島敦生・祥子、上林寧・ちか子、木島正敏、北川嘉之、木脇久代、黒田郁子、小林美枝、齋藤美智子、佐藤文子、品澤輝子、島崎正光・尚子、霜山雅也・明子、白井紀子、白川市子、税理士法人シロウス長岡事務所、鈴木恵子、鈴木憲三郎、鈴木茂子、鈴木美和子、角田敦、関口正俊、高岡由佳、高橋真知子、高山常徳、田口彩香、田中保、田中博子、田中靖子、チョイナ、月井博、辻昭明・久美子、角田敦、徳永理佳、橋内菜穂子、中上英之・祐子、中島紀子、名取克範、西田秀之・恵美子、野村剛、平野修一、平野尚美、廣岡和穂、福田理佳、本間弘一、本間保子、前崎淳子、松井恵、箕輪憲昭、森柳子、矢崎達子、矢島京子、矢島友子、山崎雅子、横須賀悦子、横山欣也、和光佳子、渡部直子 匿名1名様

サポーター会のお申込みは、オアシス事務局 (Tel.045-894-3500)迄